

東京都杉並区立神明中学校野球部

入部案内



Shinmei

一生懸命がカッコいい

はじめに

本校は創立70年を超える、区内でも伝統ある学校の一つです。現在野球部は、28名で活動しております。指導スタッフは、本校主任教諭 角田(かくた)が行っています。ここ5年間において区大会 ベスト4、準優勝、優勝、東都軟式野球大会出場、東京23区少年軟式野球大会出場、第70回東京都中学校軟式野球選手権大会に出場と数多くの実績をあげています。練習の中で成果が出ていけば全員が活躍するチャンスがあります。多くの新入部員を期待しています。

部活動の位置付け

自らの希望する生徒を対象に活動を行っています。できるだけ多くの生徒が活動に参加できるようにしています。

部活動の目的と意義

- ①各教科の学習や学級活動で得られないことを経験する。
- ②打ち込む活動を通して、物事をやり通す強い精神力を養う。
- ③自ら進んでその活動に参加し、学年を越えて全員で協力をして活動する喜びを経験する。

※部活動の目標は試合やコンクールで良い結果を得られるように目指すことですが、目的は**人間形成**であると考えています。

部活動の基本 あいさつ！返事！整理整頓！

部活動によって得られること

まず「達成感」が学べます。何かをやりきった喜びです。また何かを達成できなかったときの「挫折感」を味わうこともあるかもしれません。そこから様々な「教訓」や次に向けて「努力することの大切さ」を新たに学ぶことができます。中学の部活動で出会った出会った友達の中からは「一生の仲間」、「本当の友だち」となる人物が出てくることもあります。そういう「仲間の大切さ」、そして仲間とうまくやっていくための「コミュニケーション」も自然と学ぶことになります。もちろん、同じ学年の仲間だけではなく、先輩や大人と接する中で「人との関わり方」を学べます。運動部であれば、苦しい練習に耐える「忍耐力」も得られ、その分「体力」を身に付けることができるでしょう。

部活動からは、他にもたくさん学ぶことができます。これらは全て将来、立派な大人として社会に出ていくために必要な経験でもあります。中学の部活動を通して得た経験は大人として生きていくための大切な考え方やスキルとして生かされるのです。部活動では知識から学べないことがたくさん学べます。少し大げさな言い方かもしれません、部活動に入り頑張ること自体が「人生の勉強方法」であると言えるかもしれません。部活動は、健全な心身の育成をするための教育活動として、貴重な役割を果たしています。

中学校部活動のメリット

—学校外のチーム（クラブチーム等）との比較—

近年、学校外にも多くのチーム（以下、クラブチーム）が存在します。一般に、技術の高い選手が集まりやすい、指導者が替わることがない、主力選手になれば強豪私学に進むチャンスが広がる等のメリットがあります。一方で、部活動にも以下のメリットがありますので参考にして頂ければと思います。

●金銭面など保護者の負担の違い●

部活動は必要経費しか掛かりませんので、クラブチームと比較すると金銭面での負担はだいぶ少ないです。クラブチームは、送迎や帯同、用具の準備等、その他の部分でも負担が大きくなることがあります。

●活動の違い●

部活動は学校行事に合わせての活動（試験前は原則練習中止など）を設定します。そのため、学校行事等の調整をする必要性がありません。一方、クラブチームは色々な学校から選手が集まっているので、試験中に練習が入ったり、土日の試合が学校行事と重なってしまうこともあります。また、都大会などは東京都レベルで調整するため、学校の授業を欠席して出ることはできません。また、クラブチームは放課後の委員会などの活動に参加しつらい面があり、学校での活躍の場面が限られてしまうこともあります。

●生活指導が手厚い●

指導者が教員であるため、生活や学習の状況を踏まえた指導ができます。生活の乱れに対する指導も、部として関わります。学校全体で見守るため、心配が少ないと考えます。

●進学について●

クラブチームの方が高校進学に有利だと考えてられているかも知れません。クラブチームのレギュラーを勝ち取り、主力選手であれば、確かに全国レベルの強豪私学への進学チャンスは、一般的にクラブチームの方が有利といえます。ただし、それ以外については、大きな違いはありません。一般的の受験の場合は、3年間、部活動を継続した努力が評価されるので、むしろ部活動をやっていた方が有利な面もあります。

■野球部活動方針

- ・野球部員である前に、神明中生としての活動をおろそかにしないこと。
- ・挨拶や言葉づかいが正しくできること。また時間を守れること。
- ・チームとして戦う以上、仲間を大切にし、また、自分を厳しく律することのできる協調性や規律をしっかり身につけることができる。
- ・野球というスポーツを通じて、社会におけるルール及びマナーを覚えること。
- ・部活動を通じて、逆境にも強い心を育てる。

■活動時間

(1)活動日:火～日 月曜日休 ※大会によって変更があります

(2)活動時間:

【火～金】朝練(Am7:30～Am8:00)夕練(放課後)

11月～2月 最終下校 PM5:30 3月～10月最終下校 PM6:00

【土・日】1日練習、練習試合など

※長期休暇(春・夏・冬)に関しては別途予定を出しています。

■練習の位置付け

平日の練習は放課後だけで考えますと2時間程度(冬は1時間30分程度)です。

短時間で、効率的に練習メニューを組むことに重点をおいています

■年間の練習の考え方

1・2月(体力強化期)

1月は体力強化と基礎技術向上を目指し練習を進めます。

2月は、オープン戦(練習試合)を交えながら、学年末テストまで基礎技術と共に並行して練習します。

3月

全日本少年大会 杉並区予選

オープン戦を交えながら仕上げていきます。

4月～7月(試合期)

オープン戦を交えながら調整をします。

(4月 中体連春季大会杉並予選 5月 第3ブロック都大会代表決定戦 中体連春季都大会
全日本少年軟式野球東京都大会)

6月の3年生最後の大会に向けて最後の仕上げをしていきます。

(6月 中体連夏季選手権杉並予選 7月 中体連夏季選手権都大会

東京都少年軟式野球大会アンダーアーマー トーナメント 荻窪地区中学校野球大会

8月 関東大会 全国大会)

8月 新チームへの移行期

基礎技術及び体力の向上を狙い、基本練習とオープン戦を組み合わせながら、9月からの大会に向けて備えます。

(8月 ライオンズ旗杉並地区野球大会兼文部科学大臣杯全国少年野球大会予選)

9月～10月

9月から大会の開幕です。オープン戦を交えながら調整をしていきます。

(9月 中体連秋季杉並地区予選 東京都軟式野球秋季大会 10月 中体連秋季都大会)

11月～12月(体力強化期)

オープン戦を交えながら、体力強化・基礎技術向上を目指し練習を進めます。

年間活動計画(昨年度より…)

1月 体力強化

2月～3月 オープン戦 全日本少年大会 杉並区予選

4月～5月 春季大会(ブロック予選・都大会)東京都少年大会 予選・本選

6月～7月 夏季選手権大会(ブロック予選・都大会)

8月 関東大会・全国大会 オープン戦

夏季休暇

杉並区野球協会 夏季大会(文部科学大臣杯予選)

※今年度8月8日(土)スタート・9日(日)・10日(月)・15日(土)・16日(日)予定

9月 秋季大会(ブロック予選・都大会)

10月～12月 23区野球大会、オープン戦

※大会は春季、夏季、秋季の3回あり、ブロックで地区予選が実施されます。

※春季・秋季は3位以内に入ると第3ブロック都大会代表決定戦へ、回ります。

■用 具

- ・ユニフォーム、グローブ、スパイクについては、個人負担でお願いします。
- ・バットについては学校でも用意してありますが、個人で用意してもかまいません。
- ・道具(グローブ、スパイク)は学校の盗難等の責任は負いかねますので、必ず自宅に持ち帰ってください。

■オープン戦(練習試合について)

- ・対戦相手は、区内はもとより、区外のチームと練習試合を実施いたします。神明中学校のグラウンドでは練習試合が出来ないため、練習試合は他校への遠征です。他校にいく中で団体行動の中における規律、更なる技術向上を目的とし遠征試合を実施しています。
- ・遠征試合及び公式戦の場合は、交通手段として公共交通機関を利用します。
- ・集合は、駅に直接集合をします。(試合前に原則として内容を書いた用紙を配布いたします。)
- ・欠席においては、事前もしくは当日の集合時間までに顧問までご連絡ください。

■近年成績

【平成29年度】

中体連杉並春季大会 第3位 第3ブロック決定戦進出

中体連夏季選手権大会 準優勝 第3ブロック代表決定戦勝利 都大会初出場

荻窪地区青少年育成野球大会 優勝 中体連杉並秋季大会 第3位

【平成30年度】

荻窪地区青少年育成野球大会 優勝

【令和元年度】

荻窪地区青少年育成野球大会 優勝 杉並東ライオンズクラブ旗中学生軟式野球大会 準優勝

中体連杉並秋季大会 準優勝 杉並区民祭 中学生軟式野球の部 優勝 東京都23区少年野球大会 出場

■最後に

多くの新入部員を期待しています。初心者大歓迎です。入部、学校に関してのお問い合わせは、神明中学校までご連絡頂ければ幸いです。隨時、体験練習を実施しています。何か不明な点がありましたら、神明中学校までお問合せください。

